



子どものころを思い出せないのではない
してみましよう。友達や、家族と楽しく遊んだ記憶がよみがえってくると思

季節感を意識しよう

外遊びを大切に

います。

その中に「どこで？」

と場所を思い出すことは

ありますか？ 深い記憶

なら場所は思い出せるで

しょう。では「どの季節

？」と考えると、意外と

感覚は、心の感性そのも

のが深まる体験を積み重

ねないと、なかなか身に

着かないものと考えてい

ます。子どもには豊かな心

もって育ててほしいと誰

もが願います。賢くなり、

体が丈夫になり、そして

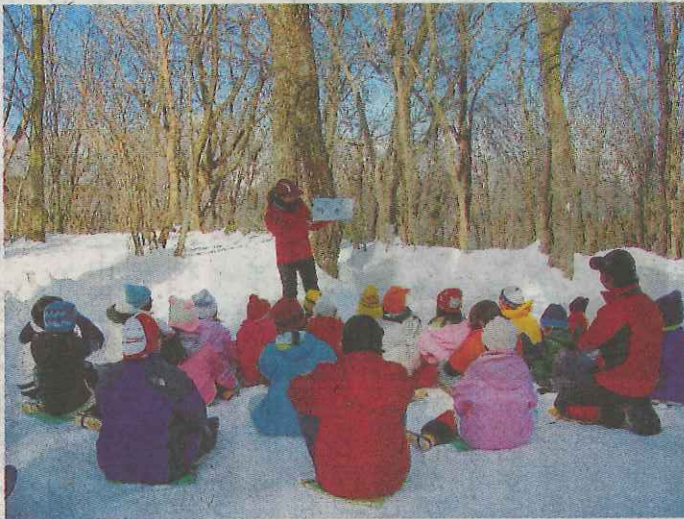
海に行ったとき感じたギ
ラギラした太陽のまぶし
さ。小川の水の冷たさ。
秋の落ち葉に埋もれたわ
くわく感。冬の風の寒さ
と雪だるまを作ったとき

思いやりのある心に育つ
てほしい。この三つは親
心の「トップ3」である
ことは間違いありません。
思いやりのある心は、

育の中に一番欠けている
と感じています。
「季節感」とは？
と難しく考えないでくだ
さい。なるべく自然の中
で遊ばないだけなので

す。大人の生活がそうで
あるように、子どもの遊
びも季節に関係なく同じ
になってしまった現代に
おいて、自然の中で活動
する機会を増やすことが
最も有効な方法と考え、
週に1回、月に1回と決
めて、意図的に外で子ど
もと一緒に遊びましょ
う。

目の前にある豊かな但
馬の自然は、いつでも優
しく受け入れてくれます
よ。
(尼崎市立美方高原自
然の家所長 田中誉人)



雪上での読み聞かせに熱中する子どもたち